

6 「つどう・やまなし」の実現

「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	6	「つどう・やまなし」の実現
----------	---	---------------

政策	1	国内外に向けた山梨の魅力発信	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	10	
<p>【政策推進に当たっての基本的考え方】 本県は、首都圏に位置しながら、清らかな水や緑豊かな森林など、美しい自然が数多く残されています。こうした本県の持つ魅力を国内外に発信するとともに、都市居住者に対して「やまなしライフ」に関する情報を積極的に提供し、本県への移住等を促進します。</p>					
平成 21 年度 の 主 な 取 り 組 み 状 況	項 目		頁	担 当 部 局	
	○ 富士の国やまなし館の運営		P.132	観 光 部	
	○ 「花と名水 美し色の山梨」キャンペーンの展開		P.132	観 光 部	
	○ 「富士の国やまなし観光ネット」の機能の強化		P.133	観 光 部	
	○ 観光圏による広域的な観光地形成の促進		P.134	観 光 部	
	○ 富士北麓広域周遊観光拠点の整備着手		P.134	観 光 部	
	○ フィルムコミッションによるロケーションの誘致・支援		P.134	観 光 部	
	○ 山梨県フィルムコミッション連絡協議会の設立		P.134	観 光 部	
○ やまなし二地域居住推進協議会の設立		P.135	観 光 部		
事 業 費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			4,718 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			4,386 百万円	
	前年度までの事業費			3,446 百万円	
	本年度の事業費			940 百万円	
数 値 目 標 の 達 成 状 況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進 捗 率 (%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	映画、テレビ等ロケ実施件数	129 件 (H18)	180 件 (H22)	142 件 (H21)	25.5
	山梨サポーター（やまなし大使及び山梨魅力メッセンジャー）数	1,307 人 (H18)	3,000 人 (H22)	2,871 人 (H21)	92.4

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 「富士の国やまなし館」物品展示・販売機能の充実 【観光振興課】	商工振興費 (51,217) 51,217	<p>首都圏における情報発信拠点として、優れた県産品の展示・販売や、四季折々の観光情報の提供など、魅力ある運営を行った。</p> <p>平成21年度の入館者数は346,742人、前年度と比較して87.6%の増加、県産品販売額は5,600万円、前年度と比較して101.0%の増加となった。</p> <p>また、アンテナショップの更なる機能強化のため、平成22年6月より民間委託し、(株)電通ファシリティマネジメント(現(株)電通ワークス)を運営事業者に選定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士の国やまなし館の運営 <ul style="list-style-type: none"> 常設展示品目の新たな発掘と販売促進 特別企画展の利用促進 観光物産情報の発信
2 大型観光キャンペーンの展開 【森林整備課】 【県有林課】 【治山林道課】 【観光振興課】 【耕地課】 【道路管理課】	観光総務費 (17,000) 17,000 造林費 (11,513) 11,513 土地改良費 (870,870) 711,670 [159,200] 道路橋りょう整備費 (30,650) 26,708 [3,942]	<p>本県の魅力を全国に伝えるため、JR東日本の「重点販売地域」指定を活用し、官民一体となった「花と名水 美しい色の山梨」キャンペーンを展開した。また、名所周辺の道路や沿道環境の整備を行った。</p> <p>これにより、キャンペーン期間中(平成21年4月～6月)の観光客数が、前年同期と比較して1.9%増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な宣伝誘客活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> 旅行会社への情報提供及び説明会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 平成21年9月、平成22年2月 観光キャラバンの実施 平成22年1月～3月 5連ポスターの全国JR駅1,500箇所掲出 <ul style="list-style-type: none"> 平成21年6月 イベントガイドブックの配布 23万部 ・魅力的なイベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> オープニングイベントの実施 平成21年4月 お楽しみプレゼントの実施 平成21年4月～7月 ・受入体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> 二次交通の運行継続 おもてなしの実践に向けた県民への周知 <ul style="list-style-type: none"> 県政だより「ふれあい」特集号への記事掲載 <ul style="list-style-type: none"> 平成22年3月 ・沿道環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> 観光地における景観の保全 <ul style="list-style-type: none"> 昇仙峡地区(昇仙峡松林機能回復整備) 観光地におけるアクセスの確保

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
3 「富士の国やまなし観光ネット」を活用した情報発信 【観光振興課】	観光宣伝費 (30,733) 29,832	<p>山梨市江曾原地区 外6地区（農村地域活性化農道整備） 北杜市甲斐駒ヶ岳地区（広域営農団地農道整備） 笛吹市春日居町地区（地域振興県道補修）</p> <p>本県を訪れる観光旅行者に対して、旬の観光情報を適時・適切に提供するため、市町村や観光事業者等から寄せられた情報を「富士の国やまなし観光ネット」を通じて、積極的に発信した。</p> <p>また、周遊・滞在型観光を推進するため、「富士の国やまなし観光ネット」のリニューアルを実施し、交通情報と観光情報の連携を図り、携帯電話やカーナビも利用できる総合観光案内システムの構築を推進した。</p> <p>これらにより、年間 8,873,399 件のアクセスとメルマガ会員 14,008 人に情報を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> 旬の観光情報、旬のイベント情報、周遊モデルコース情報、バリアフリー情報 やまなし観光ネットの情報強化 <ul style="list-style-type: none"> 検索機能の充実、旅行商品の販売、旅行プラン作成機能、携帯電話機能等の充実
4 山梨の魅力メッセンジャーの認定 【観光振興課】	商工総務費 (1,965) 1,781	<p>県内の大学生等が卒業後も本県の魅力を伝えられるよう、本県の自然や歴史等に対する理解が深まる講座や現地視察を実施するとともに、これらの受講者を「山梨の魅力メッセンジャー」として認定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「山梨の魅力メッセンジャー」の認定 <ul style="list-style-type: none"> 認定者 376 人 累計 2,218 人（平成 22 年 3 月末現在）
5 携帯電話専用観光ホームページの充実 【観光振興課】	観光宣伝費 (60,000) 28,000 [31,985]	<p>周遊・滞在型観光を推進するため、「富士の国やまなし観光ネット」の携帯電話機能を充実させて、県内を観光中に情報を取得できる案内システムの構築を推進した。</p> <p>このことにより、年間 426,968 件のアクセスによる観光客等の情報入手などに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> QRコードの継続設置 <ul style="list-style-type: none"> J R 駅・市町村・旅館等宿泊施設・災害避難所 3,000 箇所 携帯電話情報提供機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> G P S 機能による現在地周辺の観光情報検索 路線バス情報提供

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
6 広域的な観光地形成の促進 【観光振興課】	商工総務費 (1,000) 1,000	<p>国際競争力の高い魅力ある観光地の形成により地域の活性化を図るため、観光地が広域的に連携した「観光圏」の整備を促進した。</p> <p>また、多言語案内表示板の新設 50 基、改修 14 基の整備促進のための支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士山・富士五湖観光圏の整備支援 富士山・富士五湖観光圏整備推進協議会に情報提供等を実施 外国人観光客受け入れ体制整備のための案内表示等の多言語化調査事業（国事業）の実施支援 ・八ヶ岳観光圏の認定準備支援 八ヶ岳観光圏整備推進協議会の設立を支援 観光圏の認定に向けて、八ヶ岳観光圏整備実施計画の策定支援
7 富士北麓広域周遊観光の推進 【観光資源課】	観光施設費 (423,000) 15,420 [407,580]	<p>富士スバルラインの渋滞解消と富士北麓地域における広域周遊観光の推進を図るため、拠点となる駐車場の整備に向けた調査等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地形測量、概略設計、環境影響調査
8 映像産業招致の推進 【観光企画・ブランド推進課】	観光総務費 (741) 629	<p>本県のイメージアップと誘客を図るため、フィルムコミッションにより、映画やテレビなどの撮影（ロケーション）の誘致・支援を行い、映像を通して本県の魅力を広く発信するとともに、映像産業の招致に向け、映画会社等へのセールスなど働きかけを強化した。</p> <p>これにより、山梨を舞台とした映画やドラマ、テレビ番組を通じて本県を広くPRした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画・テレビ等の撮影の誘致・支援 142 件 ・ホームページのリニューアル ・ロケ地データベース情報の充実 ・映画会社等へのセールス 40 社 ・山梨県フィルムコミッション連絡協議会の設立 (全市町村参加)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
9 やまなしライフの推進 【観光振興課】	観光総務費 (5,000) 4,224	<p>二地域居住の促進により、本県の交流・定住人口の増加を図るため、本県での暮らし（やまなしライフ）に関する相談窓口の運営や相談会の開催など情報提供を行った。</p> <p>また、田舎暮らしガイドブックの作成・配布、WEBサイトの開設により、「やまなしライフ」に関する情報を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「グリーンカフェやまなし」における相談 275 件 ・「甲斐適生活相談会」の開催 平成 21 年 11 月 参加者 247 人 相談件数 662 件 ・二地域居住誘導促進モニタリング調査の実施 モニター認定者 22 人 ・やまなし二地域居住推進協議会の設立 平成 21 年 7 月
10 Uターン・Iターン就職の促進 【労政雇用課】	雇用対策費 (7,462) 6,016	<p>県内労働力を確保するため、県外の学生やU・Iターン希望者に対して企業情報を提供するとともに、就職相談の実施や就職面接会を開催した。</p> <p>これにより、平成 19 年度以降、5,713 件の就職相談を実施するなど、U・Iターン就職の促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなしU・Iターン就職支援室での就職相談等の実施 3,111 件 ・就職面接会の開催 平成 21 年 4 月 参加者 71 人 参加企業 27 社

「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	6	「つどう・やまなし」の実現
----------	---	---------------

政策	2	時代のニーズを満たす多様な観光の振興	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	18	
<p>【政策推進に当たっての基本的考え方】 美しい自然、良質な温泉、新鮮でおいしい農産物など、本県には、「健康」や「癒し」といった観光客のニーズを満たす地域資源が数多くあります。これらを活用し、「日本のスイス」と呼ばれるような観光地づくりを進め、観光客の大幅な増加を図ります。</p>					
平成21年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 香港における「富士の国やまなし」観光物産フェアの開催		P.138	観 光 部	
	○ 中国観光セールスの強化		P.138	観 光 部	
	○ やまなし観光推進機構の創設		P.139	観 光 部	
	○ やまなし観光推進機構による着地型旅行商品の造成・販売		P.139	観 光 部	
	○ 企業研修等団体旅行の誘致		P.139	観 光 部	
	○ 体験型教育旅行誘致への支援		P.140	観 光 部	
	○ 中京・関西方面重点キャンペーンの実施		P.141	観 光 部	
	○ 富士の国やまなし観光振興施設整備費補助金による支援		P.142	観 光 部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			9,683 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			7,513 百万円	
	前年度までの事業費			5,590 百万円	
	本年度の事業費			1,923 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	観光客数	44,040 千人 (H18)	50,000 千人 (H22)	47,138 千人 (H21)	52.0
	外国人観光客数	689 千人 (H18)	1,000 千人 (H22)	908 千人 (H21)	70.4

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 海外誘客宣伝活動の実施 【国際交流課】	観光宣伝費 (4,000) 4,000	本県の魅力を積極的に海外に売り込むため、市町村や観光事業者等と連携して、中国においてトップセールスを実施し、本県への外国人観光客の誘客を図った。 平成21年の外国人観光客数は908千人で、前年と比較して4.4%増加した。 ・中国観光トップセールス 平成21年7月～8月 「富士の国やまなし」観光物産フェア開催(香港) 「上海観光経済交流拠点」PR(上海市)
2 東アジアからの観光客誘致の促進 【国際交流課】	観光宣伝費 (5,200) 5,082	東アジアからの観光客を誘致するため、観光セールスを強化するとともに、日本国内での手配を専門的に行う旅行会社を県内に招へいし、本県の観光資源をPRした。 平成21年の東アジアからの外国人宿泊者数は、297千人で、前年と比較して1.5%増加した。 ・中国観光セールスの強化 上海拠点設置 平成21年4月 ・ランドオペレーターの招へい 平成21年7月
3 外国人旅行者受入の向上 【国際交流課】	観光宣伝費 (720) 627	外国人旅行者の受入体制の充実を図るため、旅館組合等が行う接遇等に関する研修会の開催に対して支援した。また、外国人旅行者をサポートする通訳ボランティアを育成・組織化し、その活用を図った。 ・外国人観光客もてなし向上研修会の開催 6地域10回 平成22年2月～3月 参加者211人 ・通訳ボランティアの育成・組織化 通訳ボランティアネット設立 平成21年9月 ・在住外国人及び留学生による情報発信 リポーター 32人 海外ウェブサイトへの書き込み数 124件

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>4 新たな観光振興推進体制の確立</p> <p>【観光振興課】</p>	<p>観光総務費 (104,000) 102,398</p>	<p>国内外の観光客の効果的・効率的な誘致を図るため、産学官が協働して新たな組織を創設し、県と連携して観光の振興に取り組んだ。</p> <p>また、新たに着地型旅行商品の造成・販売に取り組み、48の商品を造成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなし観光推進機構の創設・運営支援 創設 平成21年4月 <p>主な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> JR、NEXCOと協働した観光キャンペーン 観光・物産情報の発信 インバウンド観光客の誘客 県産品の販路拡大 着地型旅行商品の造成・販売促進 旅行会社への商品造成促進 観光人材の育成
<p>5 企業研修等団体旅行の誘致</p> <p>【観光企画・ブランド推進課】</p>	<p>観光総務費 (1,600) 1,600</p>	<p>山梨ならではの受入メニューなどの情報発信や首都圏の大手旅行会社への営業活動などを行い、企業研修・ミーティングなど「新たな団体旅行」の誘致に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入メニューの作成 2,000部 ・旅行会社への働きかけ 10回 ・受入メニュー体験ツアーの実施 平成22年3月
<p>6 富士の国やまなしロングステイの推進</p> <p>【観光企画・ブランド推進課】</p>	<p>———</p>	<p>滞在メニューとなるヘルスツーリズムのコースづくりを実施した。また、エコツアー等の滞在メニューを含むツアーの情報発信を行い、観光の振興を図った。</p>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 やまなし都市 農村交流の促進 【観光振興課】	農業総務費 (1,910) 1,766	<p>本県におけるグリーンツーリズムの普及を促進するため、農山村地域の多様な資源を活用し、都市住民との交流活動に取り組む富士の国やまなし農村休暇邑協会の活動に対して支援した。</p> <p>これにより、平成17年度以降、77人の地域コーディネーターを育成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 富士の国やまなし農村休暇邑協会の活動内容 グリーンツーリズムガイドマップの改訂 地域コーディネーターの育成(11人) ゆうゆう案内人の認定 (平成22年3月末時点 122人) 体験型教育旅行誘致のためのパンフレット作成及び旅行会社等への営業活動
8 観光懇話会の 開催 【観光企画・ブランド推進課】	観光総務費 (450) 450	<p>観光カリスマや学識経験者等で構成する観光懇話会を開催し、今後の観光振興の在り方についての意見を施策に反映した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 山梨県観光懇話会の開催 3回
9 産業観光の振 興 【観光企画・ブランド推進課】	観光総務費 (1,000) 1,000	<p>モノづくりの現場や歴史など、産業に関する施設や技術等を資源として活用し、これらを新たな観光需要に結び付けるため、山梨県中小企業団体中央会が行う取り組みに対して支援し、産業観光推進体制の整備が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業等への働きかけ 産業観光ウェブサイトの追加作成 モニターツアーの実施 2回 旅行エージェントへの営業 パンフレットの作成・配布 2,000部 地域資源調査
10 地域観光コー ディネートの 促進 【観光企画・ブランド推進課】	—————	<p>地域でこそ知り得る観光素材を活用し、新たな観光地域づくりを行う団体等の取り組みに対して支援した。</p> <p>これにより、到着地で様々なメニューを楽しみたいという観光客のニーズへの対応が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな観光地域づくりへの支援 5団体

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
11 エコツーリズムの推進 【観光資源課】	———	<p>自然環境に恵まれた南アルプスや八ヶ岳南麓、奥秩父などにおけるエコツーリズムの普及・定着を図るため、関係行政機関や関係団体による意見交換会を実施した。</p> <p>これにより、エコツアーの実施状況や問題点を把握するとともに、情報の共有化が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコツーリズム実践意見交換会の開催 3回
12 宿泊客増大に向けた観光商談会等の開催 【観光振興課】	観光宣伝費 (15,750) 15,750	<p>本県に宿泊する観光客の増大を図るため、中京・関西圏での観光キャンペーンを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中京・関西方面重点キャンペーンの実施 <ul style="list-style-type: none"> 高速道路SA等での観光キャンペーン 18回 中京・関西地域の新聞への記事広告掲載 5回 中京・関西限定プレゼント企画の実施 1回 SAへのパンフレット設置 14箇所 SA・PAへの電子ポスター掲出 37箇所 ハイウェイ観光ナビゲーター(談合坂・双葉) 69日 東京・大阪に駐在職員を配置し、旅行会社等への営業活動
13 もてなしの山梨特産畜産物生産流通への支援 【畜産課】	畜産振興費 (2,464) 2,215	<p>甲州牛などの本県特産畜産物の生産及び消費拡大を図るため、観光と連携した生産基盤強化等に向けた取り組みを支援した。</p> <p>これにより、甲州牛等の生産基盤が強化され、生産者の生産意欲の向上に寄与した。また、県内外の消費者に県産銘柄畜産物をPRすることができ、知名度向上にも寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優良繁殖雌牛導入に対する支援 20頭導入 ・ジビエの利用拡大と処理施設の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> 山梨県ジビエ活用連絡協議会の開催 1回 やまなしブランド食肉マッチングフェアの開催 1回 ・新銘柄鶏作出(鶏の組合せ検定終了)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
14 県立大学における国際観光講座の実施 【私学文書課】	大 学 費 (496) 496	グローバルな観光人材を育成するため、学生や県民・企業が参加できる国際観光講座（公開講座）を県立大学で実施し、県民等の観光に関する理解を深めた。 ・県立大学における公開講座の実施 平成 21 年 11 月 4 回 参加者 192 人
15 観光地域の再生 【観光振興課】	観 光 総 務 費 (6,000) 4,399	県内の主要な観光地の再興を図るため、観光事業者や地域住民が市町村等と協働して行う観光地の再生や魅力向上に向けた取り組みに対して支援した。 特に、平成 20 年度から支援を行っている昇仙峡、下部温泉郷において、誘客イベント、おもてなし講習会、ボランティアガイド養成などを実施した。 ・観光地資産実態調査の実施、観光資産管理組織の設立促進 2 地区（湯村温泉郷、清里・八ヶ岳南麓） ・観光地再生アドバイザーの派遣 4 地区（昇仙峡、下部温泉郷、湯村温泉郷、清里・八ヶ岳南麓） ・観光地再生に向けた基盤整備等 2 地区（昇仙峡、下部温泉郷）
16 観光振興施設整備への支援 【森林整備課】 【治山林道課】 【観光資源課】 【道路整備課】 【治水課】	観 光 施 設 費 (80,000) 62,760 [10,000] 造 林 費 (7,339) 7,339 林 道 費 (287,900) 166,200 [121,700] 道路橋りょう建設費 (1,930,059) 1,246,935 [683,124]	地域における観光の舞台づくりを計画的に進めるため、市町村が行う観光振興施設の整備に対して支援するとともに、富士山周辺の道路等を整備した。 ・「富士の国やまなし観光振興施設整備費補助金」による支援 山梨市西沢溪谷 遊歩道 北杜市茅ヶ岳・八ヶ岳広域農道 観光案内看板 など 11 市町村 13 箇所 ・観光に資する道路整備 林道の改良、舗装 南アルプス線 延長 0.4 km 観光振興施設の周辺道路の整備 富士河口湖芦川線 外 5 路線 延長 5.8 km ・河川公園の整備 桂川（桂川公園）

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
17 温泉療養都市 づくりの促進 【観光企画・ブランド推進課】	道路橋りょう整備費 (416,944) 260,566 [156,378] 土木総務費 (25,000) 25,000 ——	<p>「健康」、「癒し」、「滞在」等の新たな旅行需要を呼び起こし、観光客の増加につなげるため、温泉利用プログラム型健康増進施設と病院等との連携による温泉療養都市づくりを促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 温泉療養都市づくりに向けた情報提供、助言等 随時
18 温泉健康づくりの普及への支援 【健康増進課】	——	<p>温泉を利用した健康づくりを普及させるため、温泉利用プログラム型健康増進施設に必要な温泉入浴指導員の養成に対して支援した。</p> <p>これにより、395人の温泉入浴指導員による入浴指導が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 温泉入浴指導員養成講習会（財）日本健康開発財団への支援

